

市町村長特別セミナー ～人口減少時代の政策課題～ (8月18日～19日)

平成28年度「市町村長特別セミナー～人口減少時代の政策課題～」を、8月18日、19日の2日間の日程で開催しました。今回は、全国各地から56名の市町村長・副市町村長の皆様にご参加いただきました。また、同時開催の管理職特別セミナーには、43名の部課長級管理職の皆様にご参加いただきました。

このセミナーでは、我が国が人口減少を迎えるこれからの時代に、社会経済のあり方や自治体が目指すべき方向性等について知見を深めていただくことを目的として、各分野で活躍されている皆様にご講演をいただきました。

初日は、「人口減少社会を考える～統計からみるこれからの地域のあり方～」と題して、国立社会保障・人口問題研究所所長の森田朗氏から、人口変化のメカニズムや地域別将来推計人口・国勢調査等のデータから見てくる日本の姿などについて、ご講演をいただきました。参加者からは、「統計学からの分析で、現実的には非常に厳しい指摘であったと思う。」「人口減少という事象について、詳しく知ることができた。」「右肩上がりの人口増やその他の成長は幻想であるという指摘が印象的だった。」などの感想をいただきました。



森田 朗氏



神田 瑞穂氏

次に、「アジアでのパートナーを求めて～アセアン諸国との交流を考える～」と題して、国際機関日本アセアンセンター観光交流部部長代理の神田瑞穂氏から、日本とアセアンの間でのアウトバウンド・インバウンドの動向、訪日客の状況やニーズ、アセアンのムスリムへの対応などについて、ご講演をいただきました。参加者からは、「東京オリンピックを控え、国際化推進の重要性を改めて感じました。」「相手を知り、無理することなく丁寧な対応を心掛けたいと思った。」などの感想をいただきました。

また、1日目の締めくくりとして、ヴァイオリニストの小野明子氏、ギタリストの益田正洋氏による「ミニコンサート」が開催されました。参加者からは、「心地よい時間だった。」「最高に素晴らしい。」「感動した。」「これほど近くでヴァイオリンの音を聴けたのは初めてだった。」などの感想をいただきました。ヴァイオリンとギターによる美しい音色で、クラシックの名曲から誰もが知っている日本の曲まで楽しむことができ、音楽による地域活性化手法の参考となる演奏会でした。



ミニコンサートの様子



長瀬 光市先生

2日目は、「人々が住み続けることのできる地域政策のあり方」と題して、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授の長瀬光市先生から、直視すべきパラダイムの変化、地域自治組織に起こっていること、地方都市で起こっていること、これからの地域政策のあり方と自治体経営のシステムを変える必要性などについて、ご講演をいただきました。参加者からは、「避けたい課題であるが、現実を直視し、判断するヒントになった。」「実践に基づく講義が非常に良かった。」「自治体消滅ではなく、地域消滅が問題との提起に強く共感した。」などの感想をいただきました。

最後に、「参院選後の政治・経済展望」と題して、政治ジャーナリストで元NHK解説委員長の神志名泰裕氏から、この7月に行われた参議院選挙の結果をどう見るか、今後の当面の政治の動きはどうなるのか、アベノミクス第2幕をどう見るか、政局の中期的な展望はどうなるかなどについて、ご講演をいただきました。参加者からは、「国政動向についての現状と分析を、豊かな経験からお話いただき、よく理解できた。」「地方自治体としての政策判断が求められていると感じた。」「経済に関するお話が、財政に直結するマクロな視点で、楽しかった。」などの感想をいただきました。



神志名 泰裕氏

セミナー全体については、「詳細な調査・分析に基づく学術的な説明には説得力があり、大変参考になった。」「これからも、時代を先取りしたテーマや著名な講師による研修を続けてほしい。」などの感想が参加者から寄せられました。

「巡回アカデミー」（山形県・福岡県研修） の実施について

市町村アカデミーでは、平成27年度から、アカデミーでの研修受講が困難な地域において、当該地域に出向き、広域研修機関と連携して、アカデミーにおいて実施している高度で専門的なカリキュラムを短期研修として提供する「巡回アカデミー」を本格的に実施しています。

2年目である平成28年度は、山形県及び福岡県において研修を実施しました。研修生からは、「中央研修所ならではの著名な講師から講義を受けることができてよかった。」「このような機会を今後も数多く計画していただければありがたい」などの声をいただきました。

1 山形県研修「地域ブランドを活かした地域づくり」

平成28年9月28日から30日までの3日間、山形市の山形県市町村職員研修所において、山形県市町村職員研修所との共催で、「地域ブランドを活かした地域づくり」の研修を行いました。



田中章雄氏

28日は開講式の後、「地域ブランドの課題と展望」のテーマで株式会社ブランド総合研究所代表取締役社長の田中章雄氏から、「地域ブランド調査」の結果をもとに、多くの人々が山形県に対して抱くイメージや評価のデータを紹介した後、ブランドの構造と成功につなげるための戦略、実際に地域資源を活かし、付加価値をつけて地域の魅力を発信している例などについてご講義いただきました。研修

生からは、「付加価値の大切さと6次産業化の手法を学ぶことができた。」などの声がありました。

続いて「地域資源の発掘や活用のポイント」をテーマに、地域再生マネジャーの斉藤俊幸氏から、「創発」をキーワードに、講師がこれまで関わった地域づくりの様々な事例を紹介しつつ、小さな社会実験から地域資源を見出し、活用していくポイントについてご講義いただきました。研修生からは「地域ブランドイコール商品・特産品だけではないのだとわかった。」などの感想が寄せられました。



林 省吾学長あいさつ



斉藤俊幸氏



木村俊昭先生

29日は、まず、「地域活性化戦略と自治体の役割」をテーマに東京農業大学生物産業学部教授の木村俊昭先生から、地域を活性化させるためには、地域の産業、歴史や文化などを徹底的に掘り起こすこと、次代を担う子どもたちに地域に対して愛着を持ってもらうこと、そしてキーパーソンとネットワークが重要であることなどについてご講義いただきました。研修生からは、

「自治体職員としての仕事に対する熱意に感銘を受けた。」などの声がありました。続いて「地域ブランド戦略の実践～ブランドづくりの手法～」のテーマで、薫習房（くんじゅうぼう）・未来デザイン研究所代表の二村宏志氏から、マーケティングから地域ブランドを確立していくためのアク



二村宏志氏

JAMP information

ションプラン等やブランドの体系をいかにして設計していくのかなど、ブランド戦略の具体的な手法についてご講義いただきました。研修生からは、「受け手側に立った発想」を常に心がける必要を感じました。」との声がありました。



30日は研修生が事前に提出した地域資源について、小グループに分かれて課題演習を行いました。グループの中で、どの地域資源がブランドモデルとしての可能性が大きく、その地域資源に対してどのようなアクションプランを想定するかについて、討議・発表を行い、2日目に引き続き、薫習房（くんじゅうぼう）・未来デザイン研究所代表の二村宏志氏より指導と講評をいただきました。研修生からは「地域づくりはどういった資源でもブランディングが可能なのがあったので、これから活かしていこうと思う。」などの声がありました。

2 福岡県研修「長期ビジョンの策定と実践」

平成28年10月17日から19日までの3日間、福岡県大野城市の福岡県市町村職員研修所において、福岡県市町村職員研修所との共催で、「長期ビジョンの策定と実践」の研修を行いました。



牛山久仁彦先生

17日は開講式の後、「長期ビジョン策定の意義と役割」のテーマで、明治大学政治経済学部教授の牛山久仁彦先生から、20年、30年先を見据え、自治体が住民と協働して地域に見合った長期ビジョンを策定することの意義やその手法についてご講義いただきました。研修生からは「長期ビジョン策定における意義、役割等の重要性、注意点などを分かりやすく講義していただいた。」などの声がありました。



臼井純子氏

18日はまず、「これからのまちづくり」のテーマで、弘前大学大学院地域社会研究科長・教授の北原啓司先生に人口減少・少子高齢化時代を迎えるこれからのまちづくりのあり方、コンパクトシティの本当の意味とその取り組みについて、様々な事例を交えてご講義いただきました。研修生からは、「まちづくりではなくまち育ての考え方等大変勉強になった。」などの声がありました。



北原啓司先生

続いて、「地域づくりのポイント」のテーマで、オフィス・ウスイ代表の臼井純子氏から、講師の関わった人材育成の事例やそれに対する行政の関わり方を例として、地域づくり・地域活性化のためには人材の育成・活用が必要不可欠であることなどについてご講義いただきました。研修生からは「地域に活力を取り戻すための人材育成と行政の関わり方について非常に有効な講義でした。」との声がありました。



市町村議会議員特別セミナー ～災害に強い地域づくり～ (10月24日～25日)

平成28年度「市町村議会議員特別セミナー～災害に強い地域づくり～」を、10月24日、25日の2日間の日程で開催しました。今回は、全国各地から109名の市町村議会議員の皆様にご参加いただきました。

初日は、まず、「巨大地震と津波、そして火山噴火～発生メカニズムと備え～」と題して、東京大学地震研究所副所長、災害科学系研究部門教授の古村孝志先生から、東日本大震災と熊本地震の発生状況と特徴、今後発生し得る巨大地震の想定、地震発生予測に向けた科学の挑戦などについて、ご講演いただきました。参加者からは、「地震の発生メカニズムについて理解することができました。」「ここ30年間に於ける地震の発生率が、ある程度具体的に想定できる海溝型に対し、内陸活断層は想定が困難であることの原因がよく分かりました。」「発生率が低いということは数字上のことであり、日本においてはいつ発生してもおかしくない状況であるため、日頃からの備えが大切であることを改めて認識することができました。」などの感想をいただきました。



古村 孝志先生



林 春男氏

次に、「熊本地震から学ぶこと」と題して、国立研究法人防災科学技術研究所理事長の林春男氏から、阪神・淡路大震災から東日本大震災までの大規模地震の状況と防災のあり方、熊本地震に学ぶ5つのポイント、被災者支援のための取り組みなどについて、ご講演いただきました。参加者からは、「レジリエンスとは聞き慣れない言葉であるが、予防力と回復力と合わせた力のことであり、これを高めることによって、早期復旧、つまり防災・減災につながるものと理解できました。」「予測力、予防力、対応力を養い、情報・状況を共有することが大切だと知ることができました。」「被災者支援のためのアプリは非常に有効だと感じるので、もっと多くの方が活用できるよう、普及促進を図ってほしいと思いました。」などの感想をいただきました。

2日目は、まず、「災害情報の有効な利活用と危機管理～災害対応におけるメディアとの連携と災害報道～」と題して、東京大学生産技術研究所都市基盤安全工学国際研究センター長・教授の目黒公郎先生から、東日本大震災を教訓とした将来の繁栄の礎となる創造的復興、今後発生する大規模地震への誤った防災知識の払拭、災害イメージング能力習得による災害対策などについて、ご講演いただきました。参加者からは、「想定された備えと現実とのギャップが大きいことがよく理解でき、備えを見直さなければならないと思いました。」「間違った防災意識は命に関わる大変危険なことだと認識でき、危機管理について改めて勉強しなければならないと認識しました。」「メディアの報道内容にも疑問を持って検証すべきと改めて思い、未来に責任を持って様々な構想を考えたいと思いました。」などの感想をいただきました。



目黒 公郎先生



中邨 章先生

最後に、「防災と危機管理～期待される地方議会の役割～」と題して、明治大学名誉教授の中邨章先生から、自然災害時において被災住民が市町村議員に期待するもの、全国自治体における災害関係条例制定、地区防災計画策定等への議員参画の事例、議員版BCPの必要性などについて、ご講演いただきました。参加者からは、「防災に対し、議員ももっと立ち入り、市民に寄り添う対応をしなければと自覚しました。」「すでに地域防災計画が行政にはあり、議員独自のものは邪魔ではないかと思っていましたが、再考することが必要だと感じました。」「議員の危機対応への期待が勉強になり、議会版BCPは特に参考になりました。」などの感想をいただきました。

セミナー全体については、「専門分野の格式の高い講師の話が聞けて、大変参考になりました。」「地方の議員としてできること、やるべきことを考える良いきっかけとなりました。」「他自治体の議員と交流することができて様々な学びがありました。」などの感想をいただきました。

JAMP information

市町村アカデミーからのお知らせ

☆ 平成29年度 第1回から第2回までの研修申込みについて ☆

◆第1回分 申込み締切り：3月1日（水）

実施時期	科目名 ・ 組
4月24日(月) ～ 4月25日(火)	・【政】市町村長特別セミナー～自治体経営の課題～①
4月24日(月) ～ 4月26日(水)	・【政】管理職特別セミナー～自治体経営の課題～①

◆第2回分 申込み締切り：4月4日（火）

実施時期	科目名 ・ 組
5月10日(水) ～ 5月11日(木)	・【政】市町村議会議員特別セミナー～地域における政策課題～①
5月15日(月) ～ 5月16日(火)	・【政】監査委員特別セミナー
5月17日(水) ～ 5月19日(金)	・【制】地域おこし協力隊員及び集落支援員等の初任者研修会
5月22日(月) ～ 5月26日(金)	・【制】法令実務能力の向上A（基礎） ・【制】人事評価制度の運用 ・【制】地域ビジネスによる地域活性化
5月30日(火) ～ 6月7日(水)	・【制】住民行政事務能力の向上 ・【制】災害に強い地域づくりと危機管理①
5月30日(火) ～ 6月9日(金)	・【制】固定資産税課税事務（土地）
6月13日(火) ～ 6月21日(水)	・【制】地域ブランド等観光戦略の実践
6月13日(火) ～ 6月23日(金)	・【制】広報・広聴の効果的実践① ・【制】固定資産税課税事務（家屋）①
6月26日(月) ～ 6月30日(金)	・【制】多様な人材が活躍できる組織づくり ・【制】使用料等の滞納債権の回収強化 ・【制】公共施設の総合管理（施設の有効活用）① ・【制】これからの時代の子育て支援

※【政】：政策篇、【制】：制度運用篇

※各科目の詳細（課目・講師等）については、市町村アカデミーのホームページをご覧ください。

〈申込先〉 市町村アカデミー研修部 ホームページ <http://www.jamp.gr.jp>

電話 043-276-3126 FAX 043-276-8484